# Ass@cié



No.40 / 2024.11



#### 内定式

2024年10月1日、2025年4月入職予定の7名の方に、内 定証書を授与しました。選考過程で、法人組織の一体 化や2030 VISION構想プロジェクトにつながる動きな どを知らせていることもあり、「法人が大きく変わろう としていることにひかれて就職を決めた」という内定 者もいます。皆さんには、法人の魅力をともに模索 し、ともに育てていく、そういった存在になってもら いたいと心から願っています。



### 内定者ゼミ

入職までの半年間に内定者同士の絆を強め、法人の取 組みを伝えることでその理解を深めることを目的に、 今年度から内定者ゼミを始めました。お互いの「価値 観を知る」ワークでは、「感謝」「誠実」「信頼」と多く の方に共通したキーワードから、「連携」「挑戦」「勇 気」と心強い意見もあり、すでに施設でアルバイトを している内定者3名の方からは、仕事に取り組む姿勢な ど、具体的に語り合える良い時間になりました。



内定式と同じ10月1日に協会全体へリリースされた2030VISION構想プロジェクト。これからの協会のありたい姿に「誰 か」ではなく「私たち自身」の想いが反映されます。新たに入職する職員も、これまで協会に寄与してきた職員も、と もに想いの輪を広げるように協会の未来をつくっていきましょう。

# **2030VISION**

# 構想プロジェクト

始まりました。

わたしが望む働き方を 実現したい! 一緒に働いている みなさんの想いも 聞いてみたいな。

感じていることを 話しちゃって大丈夫? ・タイトルに「構想」とある

「対話」 って何? やってみたいことが いっっぱいあるわ。 話せるかな。

プロジェクトタイトルに「構想」とある ようにVISIONはすでにあるのではなく、 これから職員の皆さんとつくり上げてい くものです。

2025年3月までの半年間は、職員一人ひとりの仕事、協会への想いを皆さんと分かち合い、感じたことや考えたことを対話しながら、法人の経営及び運営の指針となるVISIONを形づくっていく期間となります。

わ<mark>たしたちの</mark> 未来への想いを持ち寄ろう!

#### **MESSAGE**

### 垣根を越え、いろんな職員と混ざりあって、法人を語ろう!

わたしの目線で

これまでの当法人の組織体質は、旧3部門でそれぞれに管理統制されていたため、「法人」全体を意識することなく部門独自に現場スタイルを実践し、一体的な取組みができない組織構造がありました。このたび「法人組織の一体化」を機に見直しを決意し、その典型でもある中期経営計画策定の手続きについて、思い切って転換・刷新することとしました。

職員同士で交わされる「対話」は、職場、職制、職種、新人・中堅・ベテラン等の違いをも越えてこれからの法人を語ってもらい、2030VISIONに反映させていくこととします。是非、積極的に参画していただき、自身のコトバで、法人・仕事・仲間・地域等への想いをしっかり語っていただきたいと思います。

京都福祉サービス協会は、職員の皆さんが"笑顔で安心 して"働き続けられるよう、組織をあげて努めてまいり ますので、よろしくお願いします。

理事長 宮路博

### ひとつひとつの声を、ひとつの声に

2030VISION構想プロジェクトが始まりました。クリエイティブチームのメンバーとしてジョインしました地域活動家の小松理虔です。普段は福島県いわき市で活動しています。ご縁あって協会の取り組みに外部から参加させていただいています。今後、ビジョンづくりのワークショップなどでご一緒させていただきます。よろしくお願いします!

なぜぼくのような「よそ者」が関わっているのか自分なりに考えてみると、やっぱり福祉と関わりがない人はいないからだと思います。地域の人たちはもちろん、これから福祉に興味を持つかもしれない若者たち、将来的になんらかのサービスを使うかもしれない人たち。そんなよそ者たちと協会の未来を考えていくことで、協会だけでなく、協会を取り巻く「生態系」を豊かにすることが求められているのだと思います。

だからこそ、幹部がパワープレーで決めてしまうのではなく、ワークショップなどを通じて皆さんから寄せられる声、ひとつひとつに向き合い、じっくりと分析しながら、「ひとつの声/ビジョン」を 策定していきます。できるかぎりオープンな場づくりをしていきます。ぜひご参加ください!

### 小松 理虔 こまつりけん

地域活動家 ライター

**CREATIVE TEAM** 通信

地元いわきで「ヘキレキ舎」を立ち上げ、商店街でオルタナティブスペースUDOK.を運営しながら、食や観光、医療福祉、文化芸術など幅広い分野の企画、情報発信に携わる。

# VISIONプロジェクトのこれから。

11月1日のVISIONワークショップでは、まずプロジェクトに至る背景や趣旨について理事長や理事から共有されました。VISIONについての理解を深め、参加したみなさんが考える協会の未来を語り合いました。

そしていよいよ、VISION対話セッションが始まります。このセッションは職場や立場を越え、「開かれた対話の場」 として開催されます。これまで協会で働いてきた皆さんの率直な想いを聞かせてください。

はじめは耳を傾けるだけでもOKです。同じ法人で働く仲間の想いを聞いたり、語り合ったりしてみませんか。 2025年4月1日に「2030VISION」が発表されます。法人で働く職員にも、これから福祉・介護の仕事を目指す人々に も、われわれの法人で働く価値がある、魅力が詰まったものとなるよう、一緒に考えていきましょう。

# VISIONワークショップ(1)

2024.11.01(金)





### VISION対話セッション

2024.11.19(火) / 11.26(火) 12.03(火) / 12.17(火) / 12.18(水)



VISION発表 2025.04.01(火)

京都地域共生社会推進フォーラム

2024.12.07(土)

VISIONワークショップ(2)

2025.01.17(金)

Associé No.40 2024.11 2/4 Associé No.40 2024.11 3/4

### 下坂厚の写真日記 <u>17</u> #記憶とつなぐ

#### InstagramはQRコードをscan





9月に講演で石川県小松市に行ったときのこと。

前日は京都府北部で講演があり、自宅に戻るよりそのまま日本海沿いに小松市に向かった方が近いということで、舞鶴からJRで敦賀に行き、新幹線に乗り換えて小松駅に着いた。翌朝、講演まで時間があったので海が見たくなり、タクシーに乗り『近くの海まで』とお願いした。『いい所がありますよ』と運転手さんが連れて行ってくれたのは、綺麗で静かな浜辺。安宅(あたか)の関という歌舞伎の勧進帳の舞台にもなった場所だと教えてもらった。昔、この浜辺を義経と弁慶も歩いたのかと思いを馳せながら浜辺を歩いた。



四季の中でどの季節が好きか?と聞かれると『秋』と答える。暑い夏から少しずつ涼しくなっていき、着る物も変わり、何か寂しさも感じるが、野山の草木は段々と紅葉して眼を楽しませてくれる。

先日、ドイツに在住して認知症カフェを10ヶ所ぐらいされている方が日本に帰国されているタイミングでお会いし、お話をすることができた。ドイツに在住して認知症になられた方は、後から覚えたドイツ語から忘れていく。それでも、桜や紅葉を見ると昔の記憶が蘇るのだそうだ。

日本茶をみんなで飲み、昔の話に花を咲かせるステキな取り組みを広 げていきたいと言われていた。

### 厚生会親睦会5年ぶりの開催

9月13日/19日/27日 京都ブライトンホテルにて

職員厚生会親睦会が3日間の日程で5年ぶりに開催され、470名の職員が参加しました。

気の置けないメンバー同士の笑い声、久しぶりの再会 に弾む声で、会場は大変賑やかでした。豪華景品の抽 選も大いに盛り上がりました。

事前準備から当日の進行まで運営に携わった厚生会役 員の皆さま、おつかれさまでした。







# よこ糸カフェ [Dブロック主催]

9月26日 修徳デイサービスにて

話し合うテーマは準備されたガチャガチャのカプセル に入れられ、各テーブルでは引き当てたテーマについ て、にぎやかな会話が交わされました。

当日はBブロック西院の谷所長、デイサービスの職員 さんから、"唐揚げ付きタイカレーとドリンク"が提供 され、その美味しさに一層会話も弾みました。

ブロック主催の「よこ糸カフェ」ですが、ブロックを 越えた法人のつながりを体感できた一日でした。

### ジュズツナギヒーロー企画



Associé No.38で予告した記念すべきキックオフ00 (ダブルオー)がリリースされました!

「一緒に働くあなたのヒーローを教えてください」と言いながら紹介インタビューをしていくこの企画。 普段は聞けないエピソードや、人と人とのつながりを 感じられる素敵なストーリーが、そこにあります。 次回のヒーロー紹介をお楽しみに!

### Associé編集後記

Oasisまさかの再結成。イギリスではチケット争奪戦になっているとか。来日公演はあるのか気になります。(A) 生姜・レモン・はちみつを煮て、自家製ジンジャエールを作りました。ローズマリーを加えるとグッと大人感が増します。そろそろスパイスを追加して、ホットワインも良さそうな季節です。ところで気づかれましたか? 今回の「Associé」はちょっと変化しています。遊び心も大切に、もっと楽しみを見つけられるものにしたいって思っています! 表紙イラストに「なんや、コレ?」と感じてくれた方、ありがとう。あれは合わせると「唐揚げ」になるのです。(N)

情報誌 Associé [アソシエ] / 第40号(2024年11月号) 所在地/〒604-8872 京都市中京区壬生御所ノ内町39番5 発行/社会福祉法人京都福祉サービス協会 電話/075-406-6330(代表) 編集/経営企画室総務部 FAX/050-3153-1502

